

世界が進むチカラになる。



ISO20022制度対応にかかる GCMS Plusの変更点の ご案内 - 概要

2025年10月(改訂:2026年4月)

トランザクションバンキング部

COMSUITE

GLOBAL TRANSACTION BANKING SOLUTIONS

目次

1. 各種資料リンク
2. ISO20022の概要
3. MUFGの移行計画

1. 各種資料リンク

1. 各種資料リンク

- ISO20022に関する参考資料は以下です。詳細はリンク先をご参照ください。









#	カテゴリ	更新日	資料名	リンク
1	概要(本資料)	2026年4月	ISO20022制度対応にかかるGCMS Plusの変更点のご案内 - 概要	本資料
2	送金サービスの 変更	2026年4月	ISO20022制度対応にかかるGCMS Plusの変更点のご案内 - 送金サービス	リンク
3	口座照会サービスの 変更	2026年4月	ISO20022制度対応にかかるGCMS Plusの変更点のご案内 - 口座情報照会サービス	リンク
4	日本口座からの送金に 関するご留意事項	2024年5月	日本口座からのISO20022準拠送金に関するご留意事項	リンク
5	ファイルアップロード機能 ご利用のお客さま向け テストポータルのご案内	2023年10月	ISO20022移行にともなう GCMS Plusをご利用のお客さま向け Swift MyStandards 利用手順書	リンク

2. ISO20022概要

2-1. グローバルベースでのISO20022への移行

ISO20022によるグローバルベースでの変革^(※1)

- SWIFT (国際銀行間通信協会) が、2023年3月から外国送金の銀行間決済においてISO20022に準拠した新フォーマットへの移行を開始し、現行フォーマットとの併存期間を経て、2025年11月に移行を完了する方針を発表しました。
- SWIFTによるISO20022への移行は、金融機関のみならず、お客さまにも大きな影響があります。ISO20022への移行に伴い、SWIFTは銀行間でやり取りする外国送金の電文の受取人情報の構造化を必須要件と決めました。この決定を受け、お客さまに作成いただく送金指図も受取人情報の構造化が必要となります。
- SWIFTに加え、欧米をはじめとする主要地域での決済機関がISO20022への移行を表明しています。移行スケジュール、現行フォーマットとの併存期間の有無、受取人情報の構造化の必須化有無などの詳細は、各地域の決済制度毎に異なります。
- 尚、多くの地域の決済制度では2025年11月以前に銀行間決済のISO20022への移行を開始しますが、受取人情報の構造化が必須化される時期は公表されていません(2025年5月時点)。

地域	国	決済制度	2021	2022	2023	2024	2025	2026
グローバル		SWIFT			● 2023年3月			● 2025年11月
欧州	 EU諸国	TARGET2 / EURO1			● 2023年3月			● 2025年11月
	 英国	CHAPS			● 2023年6月			● 2025年11月
米州	 米国	FEDWIRE						● 2025年7月
		CHIPS				● 2024年4月		
アジア	 香港	CHATS				● 2024年4月		
	 マレーシア	RENTAS		● 2022年7月				
	 フィリピン	PHILPASS	● 2021年7月					
	 オーストラリア	HVCS / RITS			● 2023年3月			

■ : ISO20022 (非構造化許容) ■ : ISO20022 (構造化必須)

※1 ISO20022は、国際標準化機構 (ISO) によって定められた金融通信メッセージの国際標準規格です。

SWIFTや各国決済制度は、構造化により豊富なデータの活用が可能なMXを共通フォーマットとして利用することで、送金取引の自動化・効率化を目指しています。

※2 本スケジュールは各国決済制度の現時点での公表情報を記載しておりますが、変更になる可能性があります。

2-2. ISO20022フォーマットの特徴

ISO20022では、フォーマットが構造化され、より多くの情報が整理された形で伝達されるようになります。

ISO20022の特徴

- 従来のフォーマットに比べて、文字数の上限が大幅に拡張されており、より多くの情報をメッセージの中に含めることが可能です。
- 情報の内容・属性に応じた項目が予め設定されているため、情報を容易に識別できます。
- 入力項目の構造化※により情報が細分化され、詳細かつ豊富な情報を識別・加工しやすい形式で伝達することが可能になります。

※受取人情報の構造化について

- SWIFTは都市名と国コードを外国送金の入力必須項目として定めています。
- 各国の地場決済における受取人情報の構造化要否は、将来、各国の基準に基づき定められる可能性があります。その際には別途ご案内申し上げます。

従来の規格 (MTフォーマット)

- 限られた情報量の取引データ

:59:/DE75512108001245126199	受取人口座番号
ABC Company, Breite Strasse 34, 40213,	受取人名・住所
Dusseldorf, DE	

ポイント

- Tag59に受取人名・受取人住所・口座番号の情報を最大140桁で入力します。

ISO20022規格 (MXフォーマット)

- 項目が細分化され、より多くの情報を設定できる取引データ

<Ctr>	
<Nm>ABC Company</Nm>	受取人名
<PstlAdr>	受取人住所
<StrtNm>Breite Strasse</StrtNm>	街路名
<BldgNb>34</BldgNb>	建物番号
<PstCd>40213</PstCd>	郵便番号
<TwnNm>Dusseldorf</TwnNm>	都市名
<Ctry>DE</Ctry>	国コード
</PstlAdr>	
</Ctr>	
<CtrAcct>	
<Id>	受取人口座番号
<IBAN>DE75512108001245126199</IBAN>	
</Id>	
</CtrAcct>	

ポイント

- 受取人名・受取人住所・口座番号はそれぞれ個別の入力項目として設定されます。
- 受取人住所はさらに細分化され(例: 番地、建物番号、都市名)、構造化に対応します。

3. MUFGの移行計画

3-1. MUFGの移行計画

MUFGのISO20022対応スケジュール	MUFGの対応計画					
	タイムライン	2023	2024	2025	2026	
<p>• 2023年3月: SWIFTによるISO20022移行開始。弊行はSWIFTのスケジュールに準拠し、ISO20022に準拠した被仕向送金の取り扱いを開始^(※1)。</p>		<p>3月 SWIFTによる ISO20022 移行開始</p>	<p>4月以降 GCMS Plus / GPH ISO20022 仕向送金開始</p>	<p>6月以降 GCMS Plus / GPH ISO20022 口座情報開始</p>	<p>11月 SWIFTによる ISO20022 移行終了</p>	
<p>• 2024年4月以降: GCMS Plus・Global Payment Hub(以下、GPH)サービスにおいてISO20022に準拠した仕向送金の依頼受付を欧州より各拠点にて開始^(※2)。</p>		<p>被仕向送金</p> <p>2023年3月</p>			<p>2025年11月</p>	
<p>• 2025年6月: GCMS Plus・GPHサービスにおいて、ISO20022に準拠した口座情報の提供を開始、対象拠点を順次拡大。</p>			<p>2024年4月²~</p>		<p>2025年11月</p>	
<p>• 2025年11月: SWIFTによるISO20022移行終了。弊行では、GCMS Plus・GPHサービスにおけるISO20022への移行を終了。</p>				<p>2025年6月~</p>		
		<p>■ : 現行フォーマットの取扱</p>			<p>■ : 現行フォーマットとISO20022の併存期間</p>	<p>■ : ISO20022(構造化必須)</p>

※1 2023年3月よりISO20022に準拠した被仕向送金の取り扱いを開始します。相手銀行からISO20022準拠の新フォーマットで受信した被仕向送金は、現行フォーマットであるMTフォーマットに変換の上お客さまの口座に入金します。

※2 ISO20022に準拠した仕向送金の取扱いは、各国の決済制度におけるISO20022移行計画と平仄をとりつつ、SWIFTの定める移行期限である2025年11月までに全拠点に導入します。

3-2. GCMS Plusの移行スケジュール(送金サービス、口座情報照会サービス)

ISO20022準拠フォーマットのご利用に関する今後のスケジュール				
当行拠点	送金サービス			口座情報照会サービス
	ISO20022移行開始日	ISO20022に準拠しない 送金指図入力画面の 最終ご利用日	ISO20022に準拠しない フォーマットでのファイル アップロードの最終ご利用日	ISO20022移行開始日
日本 マニラ、MUFGバンク(マレーシア) 台北、シドニー、オークランド、シンガポール、 ジャカルタ ロンドン、パリ、MUFGバンク(ヨーロッパ) (アムステルダム、ドイツ)、DIFC支店-ドバイ インド MUFGバンク(トルコ)、ソウル、ヤンゴン 米国、カナダ、ベトナム、 アユタヤ銀行バンコック・トンソン支店 香港 ミラノ 三菱UFJ銀行(中国)有限公司、 MUFGバンク(ユーラシア)、 MUFGバンク(ブラジル)、 MUFGバンク(メキシコ) アユタヤ銀行バンコック・トンソン支店以外	開始済	終了済	終了済	開始済 2026年5月11日 開始済 2026年6月15日 未定 開始済 未定

3-3. GCMS Plusにおける移行対象の送金タイプ

ISO20022移行について

- GCMS Plusで**該当の送金サービスをご利用の全てのお客さま**にISO20022移行対応をしていただく必要があります。
- ISO20022移行にともなう作業は、ご利用のサービスや送金取引の送金指図の作成方法により異なります。

お客さまへの影響

- ISO20022対応により、従来のMTフォーマットに比べて文字数の上限が大幅に拡張される他、データの構造が階層化され、送金取引の自動化機能向上や利便性向上が期待されます。
- ISO20022に準拠した送金取引では、受取人情報の名前と住所が番地・建物名・郵便番号・都市名などに細分化された構造化情報として扱われます。
- お客さまには、送金受取人情報の構造化に対応いただく必要があります。

GCMS PlusのISO20022に移行対象の送金タイプ

	地域 / 国	移行対象となる送金タイプ
欧州	フランス・ドイツ・オランダ	外国送金、TARGET2、店内振替
	UAE/ドバイ	外国送金、店内振替
	イギリス	外国送金、TARGET2、CHAPS、店内振替
	MUFGバンク(トルコ)	外国送金、国内送金、店内振替
	ミラノ	外国送金、TARGET2
アジア	日本	外国送金
	台北	外国送金 ^(※1)
	インド	外国送金
	マニラ	外国送金
	シドニー・オークランド	外国送金、国内送金
	MUFGバンク(マレーシア)	外国送金
	シンガポール	外国送金
	ジャカルタ	外国送金
	香港	外国送金、国内送金
	ソウル	外国送金
	アユタヤ銀行バンコック・トンソン支店	外国送金、国内送金
北米	ベトナム	外国送金
	ヤンゴン	外国送金
	米国・カナダ	外国送金、国内送金

※1 外貨建国内送金も含まれます